

令和7年度事業報告

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

甲、庶務に関する事項

1. 総会

(1) 第75回通常総会

令和7年6月20日に東京都中央区のA P 東京八重洲で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- 第1号報告 令和6年度事業報告の件
- 第2号報告 公益目的支出計画実施報告の件
- 第3号報告 令和7年度事業計画の件
- 第4号報告 令和7年度収支予算の件

II 提出議案

- 第1号議案 令和6年度収支決算報告承認の件
- 第2号議案 令和7年度会費徴収方法承認の件
- 第3号議案 令和7年度役員報酬承認の件
- 第4号議案 付帯決議の件

2. 正副会長会・理事会

(1) 第328回理事会

令和7年5月30日に東京都中央区のA P 東京八重洲で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 社員選挙の報告
- (2) 令和7年度乳用牛ゲノミック選抜の推進強化研究事業
- (3) 家畜改良関係会議の概要

II 協議事項

- (1) 令和6年度事業報告
- (2) 令和6年度収支決算報告
- (3) 第75回通常総会の招集及び付議事項
- (4) 第16回全日本ホルスタイン共進会
- (5) 第17回全日本ホルスタイン共進会
- (6) 遺伝子型調査に関する取扱要項等の一部改正
- (7) 今後の行事日程

(2) 第329回理事会

令和7年6月20日に東京都中央区のA P 東京八重洲で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 社員補欠選挙当選者の報告
- (2) 令和6年度登録委員並びに支部・承認団体の表彰
- (3) 令和6年度審査成績並びに検定成績優秀牛群等の表彰

II 協議事項

- (1) 第75回通常総会付議事項

(3) 正副会長会

令和7年6月30日にオンラインで開催し、次の事項を協議した。

I 議事

- (1) ランピースキン病に係る農水省等との協議概要と論点整理、懸念とリスク
- (2) 第16回全日本ホルスタイン共進会開催の是非

(4) 第330回理事会

令和7年7月7日にオンラインで開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 第16回全日本ホルスタイン共進会とランピースキン病対策

(5) 第331回理事会

令和7年8月21日にオンラインで開催し、次の事項を議決した。

I 協議事項

- (1) 第16回全共衛生対策要領の改正と同ランピースキン病対策の制定

(6) 第332回理事会

令和7年11月17日にオンラインで開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和7年度中間事業概況
- (2) 令和7年度中間決算報告
- (3) 令和7年度中間監査報告
- (4) 第16回全日本ホルスタイン共進会
- (5) 令和7年度登録委員研修会並びに登録事務担当者会議の概要
- (6) 家畜改良関係会議の概要
- (7) 血統登録証明書交付方法の一部変更

II 協議事項

- (1) 任期満了に伴う役員改選
- (2) 賛助会費の改正
- (3) 今後の行事日程

(7) 第333回理事会

令和8年3月19日に東京都中央区のA P 東京八重洲で開催し、次の事項を議決した。

I 報告事項

- (1) 令和7年度中間事業概況
- (2) 令和7年度社員会議・冬期登録事務担当者会議の概要
- (3) 家畜改良関係会議の概要
- (4) 令和7年度国等の補助事業実施状況
- (5) 乳用牛における近交係数上昇対策研究事業
- (6) 第17回全日本ホルスタイン共進会

II 協議事項

- (1) 令和8年度事業計画骨子
- (2) 令和8年度収支予算

- (3) 役員報酬の支出
- (4) 第 16 回全日本ホルスタイン共進会収支決算概算
- (5) 今後の行事日程

3. 監査会

令和 7 年 5 月 8 日に本会会議室において公認会計士による外部監査を、5 月 16 日に令和 6 年度決算監査会、11 月 7 日に令和 7 年度中間監査会を開催し、会計監査並びに業務監査を行った。

4. 社員選挙

令和 7 年 5 月 15 日に任期満了に伴う社員選挙を実施し、全国 58 の選挙区で候補者が社員定数を超えなかったため、社員選挙規則第 18 条に基づき、無投票で候補者 58 名の当選が確定した。翌 5 月 16 日開催の選挙管理委員会に報告し、社員当選者への通知と当協会ホームページで公示を行った。また、6 月に北海道、9 月に熊本県、令和 8 年 3 月には徳島県で社員の辞任に伴う社員補欠選挙を実施した。

5. 社員会議

本会社員に対して、当年度の事業実施状況や中間決算を報告するとともに、次年度の事業計画骨子案等を協議するため、東西 2 地区で社員会議を開催した。また、昨秋開催した第 16 回全日本ホルスタイン共進会の概要を報告した。

地 区	開催地	期 日	出席者
東日本	東京都内	令和 8 年 2 月 13 日 (金)	5 1 名
西日本	福岡市内	同 2 月 6 日 (金)	3 3 名

6. 会 員

令和 8 年 3 月末日現在の会費申込数は次のとおり。

(1) 会 員

	本 局	支 局	合 計
会費申込件数	3,507 名	4,613 名	8,120 名
(前年度実績比)	(95.4%)	(94.7%)	(95.0%)

(2) 賛助会員

	本 局	支 局	合 計
(団体)			
会員数 (口数)	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
払込件数 (口数)	14 団体(36口)	0	14 団体(36口)
(個人)			
会員数	24 名	0	24 名
払込件数	24 名	0	24 名

7. 職 員

令和8年3月末日現在の職員数は次のとおり。

職 名	本 局				支 局				合計
	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	令和8 年3月 末現在	前年度 末現在	任命 委嘱	解職 解嘱	令和8 年3月 末現在	
事務局長									
支 局 長					1			1	1
技 師	11	1		12	19	2	1	20	32
主 事	8			8					8
参与・嘱託	2		1	1					1
事務取扱	1			1	23	1	4	20	21
合 計	22	1	1	22	43	3	5	41	63

8. 登録委員

種 別	任 命 委 嘱	解 職 解 嘱	令和8年 3月末現在	備 考
総務委員	0	0	2名	
審査委員	0	0	16名	
検定委員	89	153	1,459名	
計	89名	153名	1,477名	

9. 支局、支部の設置と承認団体

令和8年3月末日現在の支局、支部並びに承認団体は次のとおり。

区 分		都 道 府 県
支局	1	北海道
支部	2	秋田、京都
承認団体	43	
ホルスタイン協会	(3)	宮城、静岡、奈良
酪農協連、酪農農協連	(7)	茨城、千葉、神奈川、新潟、愛媛、長崎、熊本
全農	(2)	青森、長野
農協	(4)	島根、香川、佐賀、宮崎
酪農協、酪農農協	(14)	福島、栃木、東京、石川、愛知、三重、兵庫、鳥取、岡山、広島、徳島、福岡、大分、鹿児島
畜産農協	(1)	大阪
家畜改良協会	(2)	山梨、沖縄

畜産会	(2)	埼玉、高知
畜産協会	(5)	岩手、山形、群馬、福井、岐阜
畜産振興協会	(3)	富山、滋賀、山口
合 計	4 6	

乙、業務に関する事項

1. 血統登録、証明申込

(1) 主な登録申込頭数・件数

令和7年度の主な申込頭数・件数は次のとおり。

1) 血統登録

種 別	本 局		支 局		合 計	
申込頭数 (雌)	37,671	頭	166,613	頭	204,284	頭
〃 (雄)	128	頭	221	頭	349	頭
計	37,799	頭	166,834	頭	204,633	頭
(前年度実績比)	100.2	%	97.6	%	98.0	%
予算	34,035	頭	163,000	頭	197,035	頭
(予算比)	111.1	%	102.4	%	103.9	%
登録頭数 (雌)	38,041	頭	166,298	頭	204,339	頭
〃 (雄)	128	頭	221	頭	349	頭
計	38,169	頭	166,519	頭	204,688	頭

2) 移動証明

種 別	本 局		支 局		合 計	
申込件数	1,922	件	1,100	件	3,022	件
(前年度実績比)	100.2	%	71.9	%	87.7	%
予算	1,650	件	1,200	件	2,850	件
(予算比)	116.5	%	91.7	%	106.0	%
証明件数	1,950	件	1,100	件	3,050	件

3) 審査成績証明

種 別	本 局		支 局		合 計	
牛群審査 (雌)	6,650	頭	10,890	頭	17,540	頭
〃 (戸数)	538	戸	821	戸	1,359	戸
個体審査 (雌)	440	頭	403	頭	843	頭
〃 (雄)	2	頭	3	頭	5	頭
計	7,092	頭	11,296	頭	18,388	頭
(前年度実績比)	103.2	%	94.5	%	97.7	%
予算	7,200	頭	11,740	頭	18,940	頭

(予算比)	98.5	%	96.2	%	97.1	%
証明頭数						
牛群審査(雌)	17,006	頭	31,491	頭	48,497	頭
体型調査						
個体審査(雌)	422	頭	403	頭	825	頭
”(雄)	2	頭	3	頭	5	頭
計	17,430	頭	31,897	頭	49,327	頭

4) 検定成績証明

種別	本局		支局		合計	
牛群一括検定	5,760	件	66,457	件	72,217	件
”(戸数)	223	戸	639	戸	862	戸
個体検定	404	件	166	件	570	件
計	6,164	件	66,623	件	72,787	件
(前年度実績比)	132.0	%	96.2	%	98.5	%
予算	4,320	件	66,370	件	70,690	件
(予算比)	142.7	%	100.3	%	103.0	%
証明件数	5,886	件	67,701	件	73,587	件

5) 再交付・更正・書換申込、E T事務取扱件数

種別	本局		支局		合計	
再交付	268	件	1,015	件	1,283	件
更正・書換	274	件	776	件	1,050	件
E T事務取扱	1,605	件	2,423	件	4,028	件

6) 血統能力証明

種別	本局		支局		合計	
証明件数	599	件	4,163	件	4,762	件

7) 遺伝子型証明

種別	本局		支局		合計	
雄牛の遺伝子型判定	151	件	226	件	377	件
E T生産牛の親子判定	1,541		2,397		3,938	
父母牛の判定	714		2,172		2,886	
卵性の判定	0		0		0	
フリーマーチンの判定	109		167		276	
遺伝的同一性の判定	0		83		83	
新たな検査なし報告書発行	82		234		316	
CVMの判定	0		2		2	
BLADの判定	3		2		5	

BLAD/CVM同時判定	1	0	1
赤毛因子の判定	128	3	131
単蹄の判定	1	0	1
ブラキスパイナの判定	222	228	450
CDの判定	223	227	450
BLAD/CVM/単蹄の同時判定	222	227	449
XTチップSNP検査	1,789	3,345	5,134
胚致死性遺伝子型7種類	169	84	253
SNP 遺伝子型による親子判定	5	2	7
無角の判定	100	4	104
牛βカゼインの判定	287	2,040	2,327
MWの判定	203	191	394
計	5,950 件	11,634 件	17,584 件

8) 選 奨 (生涯検定牛)

種 別	本 局		支 局		合 計	
金	90	頭	1,318	頭	1,408	頭
銀	156	頭	2,606	頭	2,762	頭
銅	516	頭	8,022	頭	8,538	頭
計	762	頭	11,946	頭	12,708	頭

2. 登録、育種改良のための情報収集、調査研究及び情報提供

(1) 登録、育種改良のための情報提供

- 1) スマートフォンやパソコンで検索利用できる「近交情報システムWeb」や牛群検定成績一括証明農家向けの「登録情報活用システム(RIUS)」、体型審査受検農家への直近の牛群遺伝改良情報や近交回避情報の還元に努めた。
- 2) SNP検査を実施したすべての農家に対して、直近のゲノミック評価値を掲載した牛群内遺伝情報の送付に加えて、牛群全体の改良状況を分かりやすくグラフ化した「ゲノミック情報利活用システム(GenIUS)」による改良情報をウェブ上で提供した。
- 3) (独)家畜改良センターから毎週公表される雌牛評価速報値について、ウェブ上で検索閲覧することで雌牛ゲノミック評価情報還元の迅速化に努めた。
- 4) 高得点牛や牛群検定高記録、生涯検定高記録、種雄牛及び雌牛のゲノミック遺伝評価値等について、当協会ホームページや機関誌等を通じて広く情報提供を行った。

(2) 調査及び研究事項

- 1) 日本中央競馬会の畜産振興事業「乳用牛ゲノミック選抜の推進強化研究事業」の最終年度を迎え、令和7年5月に札幌市内で推進委員会を開催して、前年度事業の概要と成果を報告。また、前年度に引き続き、北海道、福島、千葉、長野、鳥取、岡山、熊本の7道県の農業共済組合から疾病牛の診療データの提供を受けて、疾病の主要6形質(乳房炎、第四胃変位、産褥熱、胎盤停滞、ケトーシス、乳熱)で構成される疾病抵抗性指数の試作を行った。また、疾病データ収集を拡充するとともに、SNP情報を持つ雌牛の体型審査を可能な限

り実施して、ハプロタイプによる遺伝性疾患等の情報提供に役立てた。これらの事業の成果を持って、令和8年3月5日には学識経験者並びに生産者による総合的改良指標検討委員会を、3月17日には本事業のまとめとなる推進委員会を開催し、委員各位から好評価をいただいた。

- 2) 乳用牛群検定全国協議会事業のうち、後代検定事業に必要な初産検定牛（後代検定材料娘牛、ヤングサイア娘牛及び同期牛）の体型データ収集と同協議会への提供、併せて体型調査農家への情報還元を行った。
- 3) 乳用牛群検定全国協議会事業のうち、(独)家畜改良センターが行う泌乳能力及び体型の遺伝評価に必要な血縁ファイルを作成し、同協議会に提供した。
- 4) 乳用牛群検定全国協議会事業のうち、ホルスタイン種の改良に必要な雄牛並びに雌牛選定のためのSNP検査を実施した。
- 5) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、SNPデータによる血縁矛盾調査並びにゲノミック評価手法の開発・検証を行った。また、本年度も前年度に引き続き、SNP検査の試料採取の効率化とその普及推進のため、耳片試料採取用キットを希望の道県に配付した。
- 6) (一社)家畜改良事業団から委託を受け、「乳用種雄牛後代検定事業」に必要な候補種雄牛に係る近交回避資料と父母牛の能力調書を作成し、同事業団に提供した。

(3) 家畜改良関係5団体（家畜改良センター、家畜改良事業団、日ホ、ジェネティクス北海道、十勝家畜人工授精所）で構成する「乳用牛改良推進協議会」において、2025年度乳用牛改良推進実施計画を決定し、各団体機関誌やホームページ、関係雑誌等で周知を行った。2025年度実施計画の基本方針は、①疾病抵抗性の評価開始（2025-8月評価）、②NTPの改善（2026-2月評価からNTP2026公表）、③肢蹄指数の開発、④暑熱耐性の信頼度向上と評価形質の拡充、⑤調整交配の改善、⑥情報発信と連携を深めるための取組み、⑦ヤングサイアの活用拡大等。また、令和7年9月に全国2ブロックで開催された乳用牛改良推進ブロック会議に事務局として出席し、2025年度実施計画等の推進並びに意見交換を行った。

(4) 令和7年9月3、4日にハンガリー・ブダペストで開催された世界ホルスタインフリージアン連盟(WHFF)の第56回評議員会に、当協会から栗田専務理事が出席した。

3. 登録、審査に関する研修会、講習会及び共進会の開催

(1) 地区別登録委員研修会の開催

登録業務の円滑な遂行と審査技術の向上を図るため、都府県5ブロックにおいて令和7年度地区別登録委員研修会を開催した。第1日目は「新しい家畜改良増殖目標と疾病抵抗性指数」の講演と登録事務研修を、2日目は教材牛を使って、又は座学により審査技術研修を行った。

地区	期日	開催県	開催場所	出席者
東北	7月24日～25日	山形県	天童温泉ビューくろだ	31名
中部・北陸	7月10日～11日	岐阜県	じゅうろくプラザ、県立岐阜農林高校	34名
近畿	7月28日～29日	滋賀県	八日市ロイヤルホテル、県立八日市南高校	34名
中国・四国	7月22日～23日	島根県	島根県畜産技術センター	34名
九州	7月24日～25日	宮崎県	J AみやざきAZMホール	44名

(2) 支部・承認団体登録事務担当者会議等の開催

登録事務の円滑な遂行を図るため、前項の地区別登録委員研修会の第1日目終了後に、各地区で夏期の支部・承認団体登録事務担当者会議を開催（関東地区は8月22日に都内で開催）。また、冬期登録事務担当者会議を令和8年2月2日にオンラインで開催した。

(3) 支部・承認団体登録事務取扱者研修会の開催

支部・承認団体において実際に登録事務を取扱っている担当者を対象として、登録事務のより一層の理解と地方ターミナルシステムの操作を習得してもらうため、令和7年12月4～5日に当協会でも対面とオンラインにより研修会を開催し、25府県から支部・承認団体登録事務担当者44名が出席した。

(4) 県単の登録講習会等への職員の派遣

県単実施の登録講習会や自動登録推進等の要請を受け、職員を派遣又はオンラインで対応した。また、体型審査時等には県単の審査講習会や高等学校の生徒対象に牛の見方の勉強会を実施した。

4. 全日本ホルスタイン共進会の開催

(1) 第16回全日本ホルスタイン共進会の開催

令和7年10月25～26日に北海道安平町の北海道ホルスタイン共進会場に、39都道府県から386頭が出品して、第16回全日本ホルスタイン共進会を開催した。また、酪農資材器具展・技術交流会、後継者育成プログラム、全共開催記念パーティー等を併催した。

(2) 第17回全日本ホルスタイン共進会開催地の要請

令和7年5月と9月に、第17回全共企画委員会委員と事務局は、第17回全共開催候補地の関係機関を訪問し、これまでの全共開催の経緯と第16回全共の変更点（常設施設利用、日数短縮による経費削減等）を説明し、全共への理解醸成と開催に向けて協力を要請した。また、令和8年3月に第3回企画委員会を開催して、令和12年秋に開催することを決定した。

5. 機関誌の発行及び図書等の出版

(1) 機関誌の発行

令和7年7月、9月と8年1月、3月の年4回、(一社)全国酪農協会発行の全酪新報の紙面を借りて、当協会機関誌「日本ホル協特集号」を発行し、会員並びに関係者に直送した。また、全酪新報の元日号並びに毎月20日号に「ホルスタイン牛の広場」として登録や改良情報を掲載・提供した。

(2) 「登録委員だより」等の発行

登録取扱事務の連絡徹底と、乳牛改良等の現場で必要な情報を提供するため、「登録委員だより」を発行して、地区別登録委員研修会並びに支部・承認団体を通じて登録委員に配付した。また、「ホルスタイン登録の手引き」、「自動登録マニュアル」、「ホルスタインの見方」、「線形評価法」等の冊子を作成し、必要に応じて配付した。

(3) ホルスタイン手帳2026年版の作成・配付

ホルスタイン手帳2026年版を作成し、登録委員はじめ関係者に配付した。

6. そのほか本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 支部・承認団体の表彰

登録推進対策の一環として、会員拡大推進、自動登録普及推進、血統登録普及推進、審査普及推進の各表彰要領に基づき、対象となる支部・承認団体6部門計延べ48団体を表彰した。

(2) 登録委員の表彰

登録委員に対する表彰要領に基づき、登録の普及推進と正確性の向上に貢献したと認められた登録委員20県52名を表彰した。

(3) 審査成績優秀牛群の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、審査成績優秀牛群表彰要領に基づき、審査成績優秀牛群30戸を表彰した。

(4) 検定成績優秀牛群並びに優秀牛の表彰

ホルスタイン種の改良と酪農経営の安定向上に資するため、検定成績優秀牛群並びに優秀牛表彰要領に基づき検定成績優秀な10牛群並びに乳量・乳脂量優秀牛4部門32頭を表彰した。

(5) 支部・承認団体に対する助成

支部・承認団体に対して、登録普及に関する助成要項に基づき登録取扱委託手数料、抜取調査委託手数料、登録講習会補助金等を交付した。

(6) 地区共進会への選賞

各地区共進会やB & Wショーに対して、共進会出品優良牛選賞規程に基づき選賞を行った。

(7) ジャージー種牛の登録等事務の受託

日本ジャージー登録協会から委託を受けて、ジャージー種の登録事業を行うとともに、全国ジャージー酪農振興協議会の事務局業務を受託して行った。令和7年度の主な登録申込頭数・件数は次のとおり。

種別	都府県	北海道	合計
血統登録(雌)	598 頭	837 頭	1,435 頭
血統登録(雄)	0 頭	0 頭	0 頭
移動証明	16 件	4 件	20 件
審査成績証明			
牛群審査	48 頭	17 頭	65 頭
個体審査	20 頭	35 頭	55 頭
検定成績証明			
牛群一括	51 件	218 件	269 件
個体検定	16 件	10 件	26 件

再交付・更正・書換	7	件	6	件	13	件
E T事務取扱	4	件	32	件	36	件
遺伝子型調査	12	件	98	件	110	件

(8) 全国ホルスタイン改良協議会の事務受託

全国ホルスタイン改良協議会の事務局を受けて、関連事業を実施した。令和7年7月4～5日に青森県家畜市場でジャジングスクールを開催し、全国18都道府県から学生18名を含む164名が出席した。また、令和8年2月27日に家畜改良事業団会議室で第47回通常総会を開催した際に、農林水産省畜産局畜産振興課の松永課長補佐を講師に迎え、「酪農・乳用牛をめぐる情勢」について講演を行った。

(9) 日本ホルスタイン会館の運営

日本ホルスタイン会館の財産価値の維持とその有効活用、またテナントとの良好な関係を保ちながら会館の運営に必要な管理・整備に努めた。